

文部科学大臣メッセージ

「児童虐待の根絶に向けて～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」の発信について

(周知)

文部科学省では、毎年 11 月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、児童虐待防止のための集中的な広報・啓発活動を行っています。今年の「児童虐待防止推進月間」では、文部科学大臣より全国の家庭・学校・地域の皆さま、全国すべての子供たちに対して、児童虐待の根絶に向けたメッセージを発信することとし、文部科学省のホームページに掲載しましたので、お知らせいたします。

以下 文部科学省ホームページより

○保護者、学校関係者、地域の皆さまへ

「児童虐待の根絶に向けて ～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」

○ 11月は児童虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数(速報値)が過去最多を更新、高止まりしており、極めて深刻な状況です。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

○ 虐待は、しつけとは違い、子供の成長と人格形成に深刻な影響を与えます。

殴る、蹴るといった目に見える身体的虐待だけではなく、食事を与えない、放置する等のネグレクト、言葉によっておどかさず、無視する等の心理的虐待、性的虐待など様々な形で行われます。

○ 保護者の皆さま、親子の未来を守るため、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、一人で抱え込まずに身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

○ 学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

○ 地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。みなさまの声かけや日頃からのつながりが、保護者の不安軽減にもつながります。そして、子供の衣服や体がいつも汚れている、保護者が子育てに無関心であるなど虐待が疑

われるサインに気付いた際は、ためらわずに最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」(“いちはやく”)に相談・通告してください。

○ 児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てる体制づくりが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和4年11月 文部科学大臣

永岡桂子

○全国すべての子供たちへ

○ 毎日元気に過ごせていますか。

大人からたたかれたり、無視されたり、悲しくてつらい時はありませんか。

あなたやあなたのお友達が困っていたら、一人で悩まず、

学校の先生やスクールカウンセラー、近所の人など

周りの大人に相談してください。

あなたの力になりたいと思っている人は、たくさんいます。

近くに相談できる人がいない、見つかるのが怖くて相談できない、

そんな時は電話やSNSで相談できます。ためらわずに相談してください。

もんぶかがくしやう すこ せいちやう
文部科学省は、みなさんが健やかに成長し、

まいにち たの す おうえん
毎日を楽しく過ごせるよう応援しています。

そうだんまどぐち はなし き
【SOS相談窓口 ここからあなたの話を聞かせてください】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



れいわねん がつ
令和4年11月

もんぶ かがくだいじん
文部科学大臣

永岡桂子